

郡山市技能功労者表彰



令和4年度の郡山市技能功労者表彰式は、令和4年11月18日に郡山市役所で行われ、6名の方が技能功労者として表彰されました。

受賞者の皆様、おめでとうございます。

郡山市技能功労者 (50音順)

製材工



いとう あきら
伊藤 明 さん

24年間にわたり製材業に従事し、多種多様な木材の特性に応じた製材技術に秀で、割れ、反り、くるいのない製品づくりの高度な技能は、平成25年に全日本木材市場連盟から表彰を受け高い評価を得ている。

勤務する工場内には木材の切断から乾燥まで、製材に関する23種類の機械があり全ての操作方法から点検整備、修理等のメンテナンスに精通し、長年の経験から得られた知識や技術を基に実践を交え後進の育成に寄与している。

土石製品製造工



いとう まこと
伊藤 誠 さん

36年間にわたり石材加工業に従事し、研磨する際に機械が入りにくい部分の繊細な作業や、文字彫刻では太さ深さを微調整し奥行きを表現する彫り方、手作業で石材表面を叩き仕上げる高い技能を有する。

郡山石工組合主催の文字彫刻技術講習会で10年ほど講師を務めるほか、県中地域の業界団体で構成する県中石工協議会において会長職を務め、組合員同士の交流を促進するための様々な企画、運営に尽力するなど業界の発展に貢献している。

洋生菓子製造工



かわい ともあき
川井 智亮 さん

洋生菓子職人として26年間勤務し、工芸菓子では相手方のニーズから瞬時に作品の完成イメージを浮かべ、飴やチョコレート等の素材を用いて精巧なオブジェに具現化する技能に優れている。

勤務する専門学校では、副校長を務める傍ら教鞭も執り、学生たちが就職後も長く菓子づくりの職を続けられるよう、これまでの自身の経験談を交えつつ、日々の自己研鑽^{けんさん}で得た知識を学生たちへ伝授し、洋菓子製造分野の発展に貢献している。

建築大工



かんの こういち
菅野 幸一 さん

50年間にわたり宮大工として活躍し、江戸時代中期から続く300年の歴史を持つ社寺建築の流派「平茂寺立川流」^{へいも じ たてかわりゅう}の伝統工法を修得する。卓越した社寺建築の技能を有し、300年後の宮大工達が手本とするような社寺を残す事を目標に、全国各地で75カ寺以上の七堂伽藍建築^{しちどうがらん}を手がけてきた。

今日も社寺建築技能の継承と自己研鑽^{けんさん}に努め、代々受け継がれてきた技能を若手職人たちへ伝授し、10人余の技術者を全国に輩出している。

電気工事検査員



こばやし としかつ
小林 利勝 さん

国家資格「第二種電気主任技術者」を有し、46年間にわたって電車が安定走行するための送電設備や、運行に必要な不可欠な機器類を点検整備する業務に従事し、通勤・通学客などの旅客や貨物の安全輸送など公共交通の発展に貢献してきた。

業務改善にも意欲的であり、効率化や安全性の向上に資する各種マニュアル作成に取り組み、高圧線の日常点検業務を行う社員へ保安教育や技能指導を行い、長年培った技能を後進へ伝授している。

和生菓子製造工



やぎぬま いずみ
柳沼 泉 さん

和生菓子職人として37年間培った技能を活かし、伝統と時代のニーズを融合した製品を開発することに秀で、平成29年には全国菓子大博覧会で功労賞を受賞した。また、自身が考案した「開成山開拓最中」は、日本遺産「一本の水路ブランド」認証産品として地域活性化に寄与している。

平成21年から福島県食品衛生協会の食品衛生指導員として食品の安全性向上のため巡回指導を行い、令和2年に優良食品衛生指導員を受賞し、業界の発展に貢献している。